

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

詳細は添付文書等をご参照ください。

(薬品名)	ファセンラ皮下注 30mg ペン	生物・劇
(英名)	Benralizumab(Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1キット中 ベンラリズマブ(遺伝子組換え)30mg を含有	
(一般名)	ベンラリズマブ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	アストラゼネカ	
【薬価収載日】	2025年3月	
【薬価】	1キット 351,731円	
【薬効コード】	229	
【薬効分類名】	ヒト化抗IL-5受容体 α モノクローナル抗体製剤	
【効能・効果】	○気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る) ○既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	
【用法・用量】	〈気管支喘息〉 通常、成人、12歳以上の小児及び体重35kg以上の6歳以上12歳未満の小児にはベンラリズマブ(遺伝子組換え)として1回30mgを、初回、4週後、8週後に皮下に注射し、以降、8週間隔で皮下に注射する。 〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症〉 通常、成人にはベンラリズマブ(遺伝子組換え)として1回30mgを4週間隔で皮下に注射する。	

(薬品名)	セタネオ点眼液 0.002%	市販直後調査 2025年10月～2026年4月
(英名)	Sepetaprost	
(規格・含有量)	1mL中 セタプロスト 20 μ g を含有	
(一般名)	セタプロスト	
(メーカー名)	参天	
【薬価収載日】	2025年10月	
【薬価】	1mL 800.00円	
【薬効コード】	1319	
【薬効分類名】	二環式プロスタグランジン誘導体 緑内障・高眼圧症治療剤	
【効能・効果】	緑内障、高眼圧症	
【用法・用量】	1回1滴、1日1回点眼する。	

(薬品名)	ネクセトール錠 180mg	劇	市販直後調査 2025年11月～2026年5月
(英名)	Bempedoic Acid		
(規格・含有量)	1錠中 ベムペド酸 180mg を含有		
(一般名)	ベムペド酸		
(メーカー名)	大塚		
【薬価収載日】	2025年11月		
【薬価】	1錠 371.50円		
【薬効コード】	2189		
【薬効分類名】	ATP クエン酸リアーゼ阻害剤		
【効能・効果】	高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症		
【用法・用量】	通常、成人にはベムペド酸として 180mg を 1日 1回経口投与する。		

(薬品名)	ヒムペブジ皮下注 150mg ペン	生物
(英名)	Marstacimab (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1キット中 マルスタシマブ(遺伝子組換え) 150mg を含有	
(一般名)	マルスタシマブ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	ファイザー	
【薬価収載日】	2025年3月	
【薬価】	1キット 883,108円	
【薬効コード】	6349	
【薬効分類名】	抗 TFPI モノクローナル抗体	
【効能・効果】	血液凝固第Ⅷ因子又は第Ⅸ因子に対するインヒビターを保有しない先天性血友病患者における出血傾向の抑制	
【用法・用量】	通常、12歳以上かつ体重 35kg 以上の患者には、マルスタシマブ(遺伝子組換え)として初回に 300mg を皮下投与し、以降は1週間隔で1回 150mg を皮下投与する。なお、体重 50kg 以上で効果不十分な場合には、1週間隔で1回 300mg に増量して皮下投与できる。	

【薬品名】	テセントリク点滴静注 840mg 生物・劇									
【英名】	Atezolizumab (Genetical Recombination)									
【規格・含有量】	1 瓶中 アテゾリズマブ(遺伝子組換え)840mg を含有									
【一般名】	アテゾリズマブ(遺伝子組換え)									
【メーカー名】	中外									
【薬価収載日】	2019 年 11 月									
【薬価】	1 瓶 445,699 円									
【薬効コード】	4291									
【薬効分類名】	抗悪性腫瘍剤/抗 PD-L1 ヒト化モノクローナル抗体									
【効能・効果】	<p>○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>○PD-L1 陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法</p> <p>○進展型小細胞肺癌</p> <p>○切除不能な胞巣状軟部肉腫</p> <p>○再発又は難治性の節外性 NK/T 細胞リンパ腫・鼻型</p> <p>○PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌</p>									
【用法・用量】	<p>アテゾリズマブ(遺伝子組換え)の初回投与時は 60 分かけて点滴静注し、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。</p> <table border="1" data-bbox="341 1021 1422 1991"> <thead> <tr> <th data-bbox="341 1021 523 1066">効能又は効果</th> <th data-bbox="523 1021 1422 1066">用法及び用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="341 1066 523 1603"> <p>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> </td> <td data-bbox="523 1066 1422 1603"> <p>化学療法未治療の扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔で点滴静注する。その後、単独投与する場合には、アテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>化学療法未治療の PD-L1 陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>化学療法既治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 1603 523 1805"> <p>PD-L1 陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法</p> </td> <td data-bbox="523 1603 1422 1805"> <p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。投与期間は 12 カ月間までとする。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 1805 523 1991"> <p>進展型小細胞肺癌</p> </td> <td data-bbox="523 1805 1422 1991"> <p>カルボプラチン及びエトポシドとの併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔で 4 回点滴静注する。その後、アテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		効能又は効果	用法及び用量	<p>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p>	<p>化学療法未治療の扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔で点滴静注する。その後、単独投与する場合には、アテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>化学療法未治療の PD-L1 陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>化学療法既治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p>	<p>PD-L1 陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法</p>	<p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。投与期間は 12 カ月間までとする。</p>	<p>進展型小細胞肺癌</p>	<p>カルボプラチン及びエトポシドとの併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔で 4 回点滴静注する。その後、アテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p>
効能又は効果	用法及び用量									
<p>切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p>	<p>化学療法未治療の扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔で点滴静注する。その後、単独投与する場合には、アテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>化学療法未治療の PD-L1 陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>化学療法既治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</p> <p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p>									
<p>PD-L1 陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法</p>	<p>通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。投与期間は 12 カ月間までとする。</p>									
<p>進展型小細胞肺癌</p>	<p>カルボプラチン及びエトポシドとの併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔で 4 回点滴静注する。その後、アテゾリズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔又は 1 回 1680mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p>									

PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつHER2 陰性の手術不能又は再発乳癌	パクリタキセル(アルブミン懸濁型)との併用において、通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として1回 840mgを2週間間隔又は1回 1680mgを4週間間隔で点滴静注する。
切除不能な巣状軟部肉腫	通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として1回 1200mgを3週間間隔で点滴静注する。通常、2歳以上の小児にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として1回 15mg/kg(体重)(最大 1200mg)を3週間間隔で点滴静注する。
再発又は難治性の節外性NK/T細胞リンパ腫・鼻型	通常、成人にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として1回 1200mgを3週間間隔で点滴静注する。通常、12歳以上の小児にはアテゾリズマブ(遺伝子組換え)として1回 15mg/kg(体重)(最大 1200mg)を3週間間隔で点滴静注する。

(薬品名)	アウイクリ注フレックスタッチ総量 700 単位	劇
(英名)	Insulin Icodec (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1キット中 インスリン イコデク(遺伝子組換え)700単位を含有	
(一般名)	インスリン イコデク(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	ノボノルディスク	
【薬価収載日】	2025年11月	
【薬価】	1キット 3,809円	
【薬効コード】	2492	
【薬効分類名】	週1回持効型溶解インスリンアナログ注射液	
【効能・効果】	インスリン療法が適応となる糖尿病	
【用法・用量】	通常、成人では、1週間に1回皮下注射する。初期は通常1回30～140単位とし、患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常1週間あたり30～560単位である。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。	

(薬品名)	ラゲブリオ錠 400mg	劇
(英名)	Molnupiravir	
(規格・含有量)	1 錠中 モルヌピラビルとして 400mg を含有	
(一般名)	モルヌピラビル	
(メーカー名)	MSD	
【薬価収載日】	2025 年 5 月	
【薬価】	1 錠 4,329.80 円	
【薬効コード】	625	
【薬効分類名】	抗ウイルス剤	
【効能・効果】	SARS-CoV-2 による感染症	
【用法・用量】	通常、18 歳以上の患者には、モルヌピラビルとして 1 回 800mg を 1 日 2 回、5 日間経口投与する。	

(薬品名)	ヒフデュラ配合皮下注シリンジ	生物・劇
(英名)	Efgartigimod Alfa (Genetical Recombination)/Vorhyaluronidase Alfa (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1 筒中 エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)1000mg/ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)10000 単位を含有	
(一般名)	エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)/ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	
(メーカー名)	アルジェニクスジャパン	
【薬価収載日】	2025 年 11 月	
【薬価】	1 筒 665,026 円	
【薬効コード】	6399	
【薬効分類名】	抗 FcRn 抗体フラグメント・ヒアルロン酸分解酵素配合製剤	
【効能・効果】	<p>○全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る)</p> <p>○慢性炎症性脱髄性多発根神経炎</p>	
【用法・用量】	<p>〈全身型重症筋無力症〉</p> <p>通常、成人には本剤 1 回 5.0mL(エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)として 1,000mg 及びボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)として 10,000 単位)を 1 週間間隔で 4 回皮下投与する。これを 1 サイクルとして、投与を繰り返す。</p> <p>〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎〉</p> <p>通常、成人には本剤 1 回 5.0mL(エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)として 1,000mg 及びボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)として 10,000 単位)を週 1 回皮下投与する。</p>	

削除医薬品通知

シオゾール注 25mg	2/2 削除
ジクアス点眼液 3%	2/2 削除
イグザレルト細粒分包 15mg	2/2 削除
ピシバニール注射用 1KE	2/2 削除
アウイクリ注 フレックスタッチ総量 300 単位	2/2 削除
ラゲブリオカプセル 200mg	2/2 削除
ヒフデュラ配合皮下注(バイアル製剤)	2/2 削除

販売中止による薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>在庫消尽後変更</u> ロサルヒド配合錠 LD「日医工」 	ロサルヒド配合錠 LD「EP」

供給不足による薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>12/19 変更済み</u> ジェイゾロフト錠 25mg 	ジェイゾロフト OD 錠 25mg
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>在庫消尽後変更</u> レキソタン錠 5 	ブロマゼパム錠 5mg「サンド」

名称変更

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> ● <u>在庫消尽後変更</u> セフカペン ピボキシル塩酸塩錠 100mg「SW」 リマプロスト アルファデクス錠 5μg「サワイ」 	セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg「SW」 リマプロストアルファデクス錠 5 μ g「サワイ」

※「セフカペン」と「ピボキシル塩酸塩」の間、「リマプロスト」と「アルファデクス」の間にスペースが入ります。

供給不足により今後欠品となる薬品

キューバル 100 エアゾール
ペンタサ顆粒 94%

供給再開によるオーダー再開について

ケナコルト-A 筋注用関節腔内用水懸注 40mg/1mL	12/5 再開済み
ジクアス LX 点眼液 3%	12/5 再開済み
ジスロマック点滴静注用 500mg	12/5 再開済み

適応追加通知

(下線部太字追加改訂、=部削除)

<p>ケレンディア錠 10mg、 同錠 20mg</p>	<p>【効能・効果】 <u>○2 型糖尿病を合併する慢性腎臓病</u> ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く。 <u>○慢性心不全</u> <u>ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。</u></p> <p>【用法・用量】 <u>〈2 型糖尿病を合併する慢性腎臓病〉</u> 通常、成人にはフィネレノンとして以下の用量を 1 日 1 回経口投与する。 eGFR が 60mL/min/1.73 m²以上: 20mg eGFR が 60mL/min/1.73 m²未満: 10mg から投与を開始し、血清カリウム値、 eGFR に応じて、投与開始から 4 週間後を目安に 20mg へ増量する。 <u>〈慢性心不全〉</u> <u>通常、成人にはフィネレノンとして以下の用量を 1 日 1 回経口投与する。</u> <u>eGFR が 60mL/min/1.73 m²以上: 20mg から投与を開始し、血清カリウム値、</u> <u>eGFR に応じて、投与開始から 4 週間後を目安に 40mg へ増量する。</u> <u>eGFR が 25mL/min/1.73 m²以上 60mL/min/1.73 m²未満: 10mg から投与を開始</u> <u>し、血清カリウム値、eGFR に応じて、投与開始から 4 週間後を目安に 20mg へ増</u> <u>量する。</u></p>
<p>テセントリク点滴静注 1200mg</p>	<p>【効能・効果】 ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ○PD-L1 陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法 ○進展型小細胞肺癌 ○切除不能な胞巣状軟部肉腫 ○再発又は難治性の節外性 NK/T 細胞リンパ腫・鼻型 ○切除不能な肝細胞癌 <u>○切除不能な胸腺癌</u></p> <p>【用法・用量】 (該当部のみ記載) 〈効能共通〉 アテゾリズマブ(遺伝子組換え)の初回投与時は 60 分かけて点滴静注し、初回投 与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。 <u>〈切除不能な胸腺癌〉</u> <u>カルボプラチン及びパクリタキセルとの併用において、通常、成人にはアテゾリズ</u> <u>マブ(遺伝子組換え)として 1 回 1200mg を 3 週間間隔で点滴静注する。</u></p>

<p>デュピクセント皮下注 300mg ペン</p>	<p>【効能・効果】 既存治療で効果不十分な下記皮膚疾患 ○アトピー性皮膚炎 ○結節性痒疹 ○特発性の慢性蕁麻疹 ○気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る) ○慢性閉塞性肺疾患(既存治療で効果不十分な患者に限る) ○鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎(既存治療で効果不十分な患者に限る)</p> <p>【用法・用量】 (該当部のみ記載) 〈気管支喘息〉 通常、成人及び12歳以上の小児にはデュピルマブ(遺伝子組換え)として初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。 <u>通常、6歳以上12歳未満の小児にはデュピルマブ(遺伝子組換え)として体重に応じて以下を皮下投与する。</u> <u>15kg以上30kg未満:1回300mgを4週間隔</u> <u>30kg以上:1回200mgを2週間隔</u></p>
--------------------------------	--